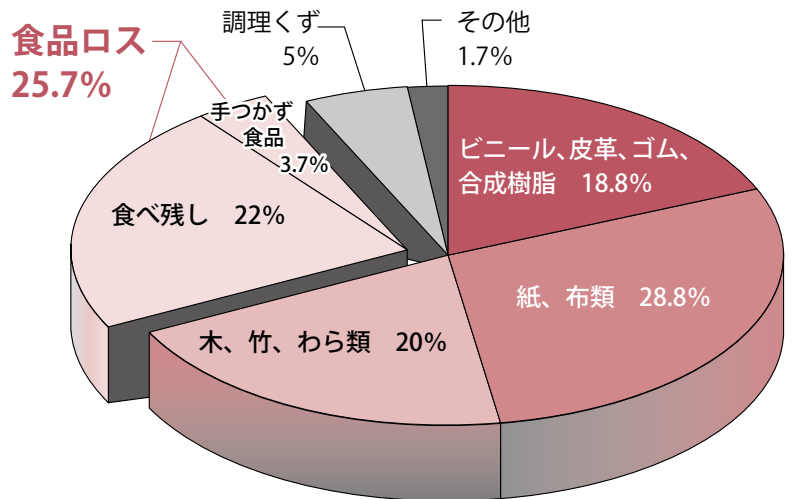


食べられるのに捨てられる 食品ロス を減らしましょう

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。日本の食品ロスは年間600万トン（平成30年度推計（農林水産省））と推計され、これは国民1人あたり1日茶碗約1杯のご飯の量（約130グラム）を捨てていることになります。

安来市では、毎年2回、家庭から出された燃やすごみの種類組成を検査しています。今年8月に行った検査では、食品ロスにあたる「食べ残し」「手つかず食品」の割合は25.7%（右図参照）で、昨年の同時期（令和2年8月実施：21.8%）に比べ3.9%高くなりました。

検査の数値を用いると安来市の家庭で出される燃やすごみの4分の1以上は、無駄な食料が占めていることになります。また、食品ロスは、廃棄時にも多くのエネルギーが使われ、余分な二酸化炭素を排出し、環境にも大きな負荷を与えるうえ、処理するための費用も発生します。



燃やすごみの成分検査結果
（令和3年度）

食品ロスは日常生活のちょっとした配慮で削減できます。賞味期限・消費期限をチェックする、買いすぎをなくすために買い物に行く前に冷蔵庫の中を確認する、食べられる分の料理を作る、といった食べ物を無駄にしないよう心がけて、燃やすごみの削減に努めましょう。

問い合わせ 環境政策課 ☎ 23-3100

安来市加納美術館だより

☎ 36-0880

芸術の秋 美術館に

出かけてみませんか

現在、「この時代の史代原画展」の世界的片隅に「企画展 加納莞菴の想い 次世代に」を開催中です。

まんがは、日本を代表するアートの一つです。海外にも熱烈なファンが多いのは、ご存じのとおりです。この展覧会では、このさんが実際に使用したペンや筆などの用具類や資料も展示しています。

また、出雲神話にちなんだまんが原画の展示もあります。どうぞお楽しみください。

＜中＞ 10月22日（金）～11月23日（火）
＜下＞ 11月27日（土）～12月23日（木）

展示替えのために休館期間がありますので、来館の際はご注意ください。



©この時代の史代・双葉社

○教科書収載記念企画展 「莞菴の想い 次世代に」

加納莞菴の足跡を、絵画作品と資料で展示します。教科書の実物もご覧いただけます。

●加納莞菴が昭和館島根展（松江市）で紹介されます（入場無料）

昭和館（東京・九段下）は、戦中・戦後に国民が経験した労苦を次の世代に伝える博物館です。この島根展では地元出身の人物として加納莞菴が取り上げられます。

タイトル 昭和館「くらしにみる昭和の時代 島根展」

会期 10月29日（金）～11月7日（日）

9時30分～17時

場所 松江テルサ テルサホール（松江市朝日町）

●演劇「奇跡の邂逅 加納莞菴物語」安来公演

日時 11月7日（日）13時開場、14時開演

場所 安来市総合文化ホール アルテピア 大ホール

入場料 千円（当日券は発行しません）※詳しくは市加納美術館まで問い合わせください。

●臨時休館のお知らせ
11月7日（日）は臨時休館します。



加納美術館

